

平素は、弊社商品にお取り組み頂き、まことに、ありがとうございます。  
月間通信 5月号をお送り致しました。  
何卒、よろしくお願い致します。



実は、最近小豆島に夢中になっています。

かつて、この島で農業をしようと、畑と家を購入し励んでいました。10年ほど夢中になって遣りましたが、経済的に自立できず断念してしまいました。でも、おかげで農業から見た野菜について随分理解が進みました。その間指導してくれた湖西市のじゃがいも農家の佐原氏は、『初めから、あんたが、ずっと農業をしているなんて思っていなかった』『ただ、自分たちが作っている野菜を、分かっている人に間に入ってほしくて、栽培の深さを教えていた』『これから、頑張っ売ってくればそれでいい』と、『もう止めた』と告げた時言われました。

それから、5年ほど八百屋稼業に、その通り頑張っ来ました。今、中医学・薬膳に力を注ぐことも、こうした経験と無縁ではありません。いつも言う事ですが、『身体の健康と健全な精神』を実現して行こうとすると、どうしてもこの思想・哲学に行き着くことは自然なことのように思います。ただ、毎日パソコンに向かっては、どんどん自分の身体が駄目になっていきそうで、再度、

週末限定ですが、小豆島に戻って土や樹の相手をする暮らしに復帰しようと思いました。

また畑作を繰り返す事はしたくありませんので、アルファで始めている薬膳事業を実際にこの場所で、すべての原料生産は不可能ですが、例え僅かでも、その一部でも、栽培したいと思い八百屋業の傍ら進めています。4年ほど放置していたので、今まではその整理に時間を費やしました。もう少し肝心のハウスの中等、整理しなきゃいけない所はありますが、まずは時間が掛かる果樹類から植え始めています。植えたい物は山ほどあります。いずれ此処を沢山の方に訪れて頂き、仲間が増えてほしいと考えています。

その時に色んな素材を御説明できるように、30種類程度を目標にしようと考えています。『薬膳の郷』をテーマに、この畑だけではなく、小豆島で育つ、先の画像は植え付け後の水遣りをしているスモモですが、そのスモモの他に、イチゴ・キュウイ・ミカン・イチジクの『丸ごと薬膳ジャム』は既に春夏秋冬の小豆島産ジャムとして開発済です。



今年の秋の作物から発売を開始する予定です。いずれも、これらの果実を中心に、目的を持った薬膳素材を配合していますが、それ以上に切れのある味の仕

上がりになった事が何より嬉しいです。

タイトルは、『**幸せ薬膳ジャム**』としていますが、その通り此处を訪れた方に、例え一瞬でも幸せを感じて頂けるそんな場所にしたいと考えています。

世間では、一体何を考えているのか、またぞろ緊急事態宣言が発令されました。まったく実態は何ら根拠が示されないの、数値に対して疑われても仕方がないところではないでしょうか。3月号で **Life in the labs** との米国の皮肉イラストを掲載しました。どこまで従順に政府の指示に従うかの実験をしていると言いたいのかも知れません。でも、それだけでは無さそうな気もしています。

当然私見ですが、1200代初頭に半ばヒーロー扱いになっているチンギス・カンが台頭し、西アジアに及ぶ一大帝国を作り、その後オスマン帝国に引き継がれていた1200年代から数えて、800年後に内陸型の強い権力が誕生しそうな雰囲気になって来ました。もちろん途中、清が台頭してトルコ辺りまで進出した例はありますが、ほとんどスペイン・ポルトガル・イギリスと海洋国家が世界を席卷して来た時代が、そろそろ終焉かと思ふ雰囲気になって来ました。

海洋国家が世界を支配し、陽の沈まぬ国などと、私にとっては、ふざけた話しにしか聞こえない勢力が、手法として採択した民主主義が、昨秋の米国大統領選挙で嘘が暴かれました。今までの選挙ももちろん選挙とは程遠いところで大統領は選ばれて来ていますが、今回は不正を告発する勢力に対して何ら抵抗する様子も無い事から、『民主主義なんて無かったよ』って言われている様子です。元来、民主主義は1700年代に起こった産業革命で、技術革新による生産性向上の受け皿として、ひとを街に誘い出すひとつの手法に過ぎなかったのではないかと私は考えています。

以来250年で、此处に至り技術革新は止まることなく、とうとう高性能のコンピューターがポケットサイズにまでなりましたが、生産力は消費力を上回る結果となり、技術革新が実態経済を豊かにすることが出来なくなってきたような気がします。この状態が金融経済

を生みましたが、それも僅か25年から30年で各国家は返済不能の額の国債を発効し、そのほとんどの額が金融経済に消え、これ以上発効しても受け手がいない状態になりました。

この事は、これ以上全体のパイとしては伸びない状況で、自社の数値的な事業発展を望むなら、他社から顧客を奪うしかありません。つまり奪い合いの状況を迎えています。しかし、世界の王様は奪う事が得意で王様になったのですが、自分が意図しないところでの奪い合いは嫌います。何故なら勢い余って自分のところに累が及ばないとは限らないからです。だから、管理社会が始まり、その為の **Life in the labs** だとも考えられ、その管理社会の行き着く先はお聞き及びかと思いますが **One world** という王様の直接管理で、その為のコロナ特別支出金で国家を破綻に導き、国家の脆弱化だとも考えられます。事実、米国では **GAF A** が国家以上の力を持ち始めているとも伝わって来て、一方同様の内陸型国家中国では、アリババのジャック・マー氏が国家によって失脚したとの噂です。また更に **amazon** の創始者ジェフ・ベゾス氏は、だからかどうか存じませんが、会長職に退いた様子です。

さて、今月のテーマは、では、どのような方法で他社の顧客を奪うかです。先日お会いした昨年昇進された社長さんは『ボコボコにやっつけるよ』『今まで、ボコボコにされて来たんだから』と話しておられました。私は沈んだままですが、そろそろ浮かぶ瀬があれば浮上したいと考えています。先に御報告しました小豆島での『**薬膳の郷**』が、瀬になるかどうかは不明ですが、私どもはこの先25年程度で終わらない戦いをしたいと考えています。私たちは自然の摂理から誕生した生き物です。それならその摂理に出来る限り順った価値基準の中で出来るビジネスが、どんなに浮世が変わろうともその変化と共に対応できるのではないかと考えています。

有限会社アルファ  
吉田清一郎